

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
薬理学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	小丸 圭一
授 業 概 要					
薬物の生体内動態、薬物の特徴、作用機序及び副作用や薬物の変化、人体への影響について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・薬の作用機序及び薬効と副作用などの関係について説明できる。 ・薬物療法の基礎が把握でき、薬の種類、治療効果の変化と検査データとの関連が説明できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	薬理学とは	薬の歴史，薬の使用目的			小丸 圭一
2	薬物(1)	作用と受容体			
3	薬物(2)	用量・用法			
4	薬物の移動(1)	薬物動態（吸収・分布）			
5	薬物の移動(2)	薬物動態（代謝・排泄）			
6	薬物の生体因子	個体差・性差・遺伝による影響			
7	ライフサイクル	妊娠期、成長期、老齢期			
8	薬力学(1)	薬物の効く仕組み			
9	薬力学(2)	麻酔薬、睡眠薬の効く仕組み			
10	薬物相互作用(1)	薬物と食物			
11	薬物相互作用(2)	有害作用・副作用、中毒			
12	医薬品と食品	サプリメント・ビタミン・輸液			
13	治療薬(1)(2)	炎症、感染症、抗菌薬(抗生物質など)、予防接種など			
14	治療薬(3)(4)	腫瘍、内分泌の異常による疾患、脳の疾患、循環器の疾患			
15	治療薬(5)	腎臓・泌尿器・消化器の疾患、呼吸器・感覚器の疾患			
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料を用いて講義する。 ・事前に予習をしておくこと。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験により評価する。 					
先 修 科 目					
解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ					
教科書、参考書					
[教科書] 疾病の成り立ちと回復の促進「薬理学」第3版 中嶋敏勝 医歯薬出版 配付資料（プリント）					